

地域住宅生産者グループ

木の家でふるさといわきの復興を考える会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
サンシャインいわき復興住宅チーム	いわき

グループの特徴とメッセージ

今回の震災、及び原発災害の被害を合われた方に心よりお見舞い申し上げます。当会では、今回の震災を受けて木の家で復興のお手伝いをさせていただきます。地元いわき市の木材をふんだんに使用しています。木のぬくもりを通して、少しでも心を癒してくれれば幸いです。耐震性能、断熱性能はもちろん、太陽光発電も古くからの実績があり、スマートハウス等にも十分に対応できる家づくりを致します。

グループの基本情報

グループ名称	木の家でふるさといわきの復興を考える会
所在地	福島県いわき市内郷宮町鬼ヶ沢 100-133
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計21社 製材 : 2社 建材流通 : 1社 プレカット : 1社 設計 : 1社 施工 : 2社 その他 : 14社
代表者名	矢吹良二(有限会社矢吹工務店代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等 (※グループ内構成員受賞歴)	平成19年いわき市技能功労賞受賞。

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,300~1,500万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数*(木造戸建)	10戸
うち地域材活用の住宅	10戸
うち長期優良住宅	〇戸
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	20戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	小規模から大規模のリフォーム、新築迄数多くこなしています。

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	矢吹良二	メール	yabuki-k@lilac.plala.or.jp
電話番号	0246-27-2929	FAX	0246-27-6527
ホームページ			
自由記入欄			

地域型復興住宅

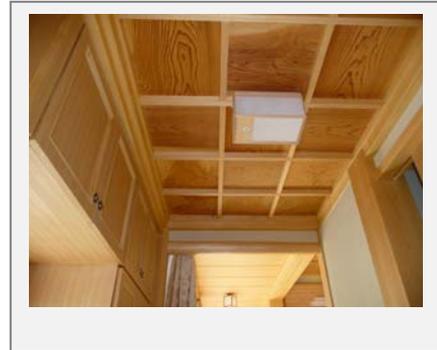
地域型復興住宅の空間・プラン等のイメージ

サンシャインいわき復興住宅チーム

地域型復興住宅のイメージと特徴

■ 地元材にこだわった頑丈な家づくり

・ 地元いわき産材にこだわった家づくり
構造材はもちろん、壁、天井等に杉材、桧材等をふんだんに使用致します。



写真や図面を効果的に活用してビジュアル的に分かりやすのとしてください



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：135 m ²
設計	鈴木建築設計	施工	有限会社矢吹工務店
施工費	2,000 万円（設計費用は除く）	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

- 地元産材をふんだんに使用しています。
- 内装材にも、ふんだんに無垢材を使います。

主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツ等
産地	福島県いわき地域
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では上質な福島県産材をふんだんに活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

- 優れた耐震性（今回の震災で大きな被害は皆無でした。優れた断熱性能(夏涼しく、冬暖かい家作りを目指しています)太陽光発電を搭載した省エネルギー、創エネルギー住宅



地域住宅生産者グループ

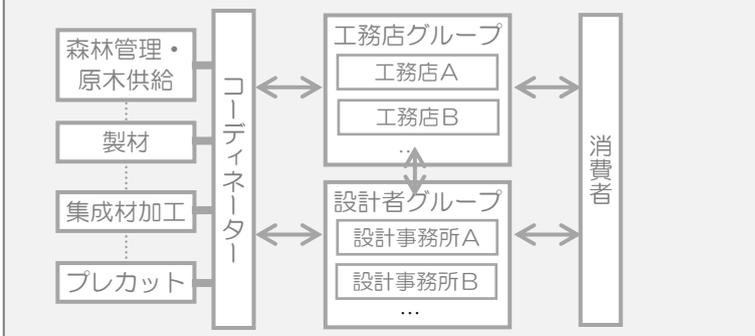
木の家でふるさとといわきの復興を考える会ネットワーク

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■ 地元の製材工場及び流通業者による迅速な供給体制
・ 地元優良企業とタイアップして迅速な供給体制を確立しています。



〇〇県〇〇地域型復興住宅生産・流通ネットワークの〇〇体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ 地元ならではの対応
震災以降、津波の被害を受けた四倉地区、永崎地区等復旧工事。地震による屋根の被害等あらゆる復旧工事に携わってきました。社長自ら先頭にたって、現場に向かいます。もちろん屋根の上にも登ります。引き渡し後も安心です。

